

記載例

については、「申立ての趣旨の額」（利息・損害金を除く。）を、については、表書きの「申立手数料の算出方法」により算出した額を記入してください。については、裁判所にお尋ねください。

に記入した金額に相当する収入印紙を貼ってください。

相手方の住所又は事務所を管轄する簡易裁判所名を書いてください。

あなたの住所、氏名、電話やファクシミリがある場合にはその番号を書き、氏名の横にあなたの認印を押してください。

申立人が会社であるときは、会社の所在地、会社名、代表者の氏名、電話やファクシミリがある場合にはその番号を書いた上、代表者の認印を押してください。

あなたに対して裁判所から書類を送る場合にどこに宛てて送ってほしいか、希望する場所（送達場所）のをレ点でチェックして届け出てください。以後あなたに対する書類はこの届出場所に宛ててお送りすることになります。

あなたの勤務先に書類を送ってほしい場合には、「勤務先」のをレ点でチェックし、勤務先の名称とその住所を書いてください。

あなたの住所でも勤務先でもない場所（例えば、あなたのお父さんの家など）に書類を送ってほしい場合には、「その他の場所」のをレ点でチェックし、「申立人との関係」の部分に「父の家」などとあなたとその場所との関係を書き、その住所を書いてください。

上記の届出場所においてあなたの代わりにあなた宛の書類を受け取るべき人（送達受取人）を届け出る場合には、こののをレ点でチェックし、その人の氏名を書いてください。この届出をすると、以後あなたに対する書類は送達受取人に宛ててお送りすることになります。

相手方の住所、氏名、電話やファクシミリの番号が分かっている場合にはその番号を書いてください。

相手方が会社であるときは、商業登記簿謄（抄）本又は登記事項証明書を見て、会社の所在地、会社名、代表者の氏名を書き、また、電話やファクシミリの番号が分かっている場合にはその番号を書いてください。

調停事項の価額	円	印紙欄 (割印はしないでください)		民事一般
ちょう用印紙	円			受付印
予納郵便切手	円			
調 停 申 立 書				
○ ○ 簡易裁判所 御中				
作成年月日	平成 ○○年 ○月 ○日			
申立人	住所（所在地）（〒○○○ - ○○○○） ○○県○○市○○町○丁目○番○号 氏名（会社名・代表者名） 甲 野 大 郎 TEL ○○○ - ○○○ - ○○○○ FAX ○○○ - ○○○ - ○○○○			
	送達場所等の届出	申立人に対する書類の送達は、次の場所に宛てて行ってください。 ☑ 上記住所等 勤務先 名称 〒 住所 TEL - - その他の場所（申立人との関係） 〒 住所 TEL - -		
		申立人に対する書類の送達は、次の人に宛てて行ってください。 氏 名		
相手方	住所（所在地）（〒○○○ - ○○○○） ○○県○○市○○町○丁目○番○号 氏名（会社名・代表者名） 乙 野 次 郎 TEL ○○○ - ○○○ - ○○○○ FAX ○○○ - ○○○ - ○○○○			
支払を求める金額 (申立ての趣旨)	残債務の額	金 100万 円		
	附帯請求 (利息・損害金)	☑ 上記金額に対する うち金 円に対する 平成 ○○年 5 月 1 日から 支払済みまで	☑ 年 15 % 月 % 日歩 銭	
紛争の要点	後記記載のとおり			
上記のとおり調停を求めます。				

将来の利息・損害金の請求をするときには、この欄に書いてください。「残債務の額」の欄の金額に利息・損害金が含まれているときは、「うち金 円」の箇所に「レ」をして空欄に元本の金額を書いてください。数口の貸金があり利率が違うときは、最も低い利率に合わせていただくか、他の用紙を使って申し立ててください。

申立日現在の残債務（支払を求める額）を書いてください。